



2020年7月9日

各 位

会 社 名 DOWAホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 関口 明  
(コード番号: 5714、東証第1部)  
問合せ先 企画・広報部門 部長 細野 浩之  
( TEL 03-6847-1106 )

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2020年5月26日に発表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

2020年3月期決算短信の記載に一部誤りがあることが判明しましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

(I) サマリー情報

注記事項

(3) 発行済株式数(普通株式)

(訂正前)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	61,989,206株	2019年3月期	61,989,206株
2020年3月期	<u>2,804,740株</u>	2019年3月期	2,804,431株
2020年3月期	<u>59,184,670株</u>	2019年3月期	59,185,007株

(訂正後)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	61,989,206株	2019年3月期	61,989,206株
2020年3月期	<u>2,804,746株</u>	2019年3月期	2,804,431株
2020年3月期	<u>59,184,669株</u>	2019年3月期	59,185,007株

## (Ⅱ) 添付書類4ページ

### 1. 経営成績等の概況

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### (訂正前)

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より11,229百万円増加し、30,232百万円となりました。

営業活動による資金の増加は55,113百万円（前期比17,558百万円収入増）となりました。これは、税金等調整前当期純利益28,762百万円、非資金費用である減価償却費の計上19,288百万円、売上債権の減少8,553百万円などがあった一方で、仕入債務の減少7,473百万円などがあったことによります。

投資活動による資金は37,812百万円の支出（前期比13,213百万円支出減）となりました。これは、環境・リサイクル部門などを中心とした設備投資36,126百万円や貸付けによる支出8,120百万円があったことなどによるものです。

財務活動による資金は6,569百万円の支出（前期比22,514百万円収入減）となりました。これは、配当金の支払い5,577百万円や、有利子負債の減少807百万円などによるものです。

#### (訂正後)

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より11,229百万円増加し、30,232百万円となりました。

営業活動による資金の増加は55,113百万円（前期比17,558百万円収入増）となりました。これは、税金等調整前当期純利益28,762百万円、非資金費用である減価償却費の計上19,288百万円、売上債権の減少8,553百万円などがあった一方で、仕入債務の減少8,383百万円などがあったことによります。

投資活動による資金は37,812百万円の支出（前期比13,213百万円支出減）となりました。これは、環境・リサイクル部門などを中心とした設備投資36,126百万円や貸付けによる支出8,120百万円があったことなどによるものです。

財務活動による資金は6,569百万円の支出（前期比22,514百万円収入減）となりました。これは、配当金の支払い5,577百万円や、有利子負債の減少807百万円などによるものです。

- (Ⅲ) 添付書類 13 ページ  
 3. 連結財務諸表及び主な注記  
 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	23,499	28,762
減価償却費	18,628	19,288
減損損失	212	1,181
のれん償却額	509	485
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△42	207
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△63	△249
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	722	624
受取利息及び受取配当金	△2,204	△2,752
支払利息	1,008	1,323
為替差損益 (△は益)	△688	457
持分法による投資損益 (△は益)	△2,470	△605
固定資産売却損益 (△は益)	△184	△131
固定資産除却損	1,032	821
投資有価証券売却損益 (△は益)	△158	△1,554
売上債権の増減額 (△は増加)	2,435	8,553
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,471	4,361
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,883	△7,473
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△514	2,412
その他	7,018	77
小計	41,152	55,789
利息及び配当金の受取額	5,171	6,115
利息の支払額	△864	△1,348
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△7,904	△5,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,555	55,113

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	23,499	28,762
減価償却費	18,628	19,288
減損損失	212	1,181
のれん償却額	509	485
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△42	207
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△63	△249
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	722	624
受取利息及び受取配当金	△2,204	△2,752
支払利息	1,008	1,323
為替差損益 (△は益)	△688	457
持分法による投資損益 (△は益)	△2,470	△605
固定資産売却損益 (△は益)	△184	△131
固定資産除却損	1,032	816
投資有価証券売却損益 (△は益)	△158	△1,554
売上債権の増減額 (△は増加)	2,435	8,553
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,471	4,361
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,883	△8,383
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△514	2,412
その他	7,018	992
小計	41,152	55,789
利息及び配当金の受取額	5,171	6,115
利息の支払額	△864	△1,348
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△7,904	△5,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,555	55,113

(IV) 添付書類 18 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(訂正前)

(注) 2. 調整額は次のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額 202 百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益 280 百万円 (受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、セグメント間未実現利益の調整額△39 百万円等が含まれています。

(2) セグメント資産の調整額△16,281 百万円には、各報告セグメントに帰属しない全社資産 61,885 百万円、及び報告セグメント間債権債務の相殺消去△78,167 百万円が含まれています。全社資産の主なものは、当社での余剰運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 及び管理部門に係る資産です。

(訂正後)

(注) 2. 調整額は次のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額 202 百万円には、各報告セグメントに配分していない営業外損益 269 百万円 (受取配当金、持分法投資損益及び支払利息等)、セグメント間未実現利益の調整額△39 百万円等が含まれています。

(2) セグメント資産の調整額△16,281 百万円には、各報告セグメントに帰属しない全社資産 62,182 百万円、及び報告セグメント間債権債務の相殺消去△78,464 百万円が含まれています。全社資産の主なものは、当社での余剰運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券) 及び管理部門に係る資産です。

以 上